

私の名前はユリコ・ディパスピル・クニマサ、21歳です。私は母の国であるフィリピンで生まれ育ちました。

私が日本国籍を失ったことを初めて知ったのがいつなのかは正確には思い出せません。私が小さかった頃、私の父は日本人だけれども、私は日本国籍ではないと言われました。私はフィリピン人です。その頃は国籍とは何かを知らなかったため、私にとって問題はありませんでした。

私が成長していく中で、私はクラスメートからなぜ私は日本人ではなくフィリピン人なのかとよく聞かれました。そんな時、私はとまどい、とてもつらかったのです。私は友人たちから、私の父親はどこにいるのか、どうして私は日本にいかないのか、どうして私は日本の習慣を家で行わないのか、などと聞かれたのです。

私は婚外子で望まれずに生まれてきた子どもだと思われたため、フィリピン人としても見下され差別を受けました。例え私の父が私と母を捨てたことが本当だとしても、私が差別されたのは、他の理由からでした。でも、私の母は私を差別から守ってくれました。私たちは経済的にゆとりがあるということを見せるため、母は一生懸命に働きました。母はとても忙しく、そのために、私は母と一緒にいるための時間をたくさん失ってしまいました。そして、母は働きすぎがたたってしまい病気になってしまいました。

現在、私は看護師として働いています。21歳で大学を卒業し、国家試験に合格し、安定した仕事を得ました。また、私にはこの先にたくさんの仕事の機会があると思います。もし日本国籍を取得できれば、私は日本の習慣や遺跡を学ぶために日本を見て回りたいと思っています。私のもうひとつのアイデンティティを確認するために、私はそうしたいのです。私が置かれている全ての偏見から解放される事。それが私の最大の夢です。

(署名済)

---

ユリコ・ディパスピル・クニマサ

こんにちわ。私はタナカ・ユキです。私は 8 歳です。私の父親は日本人、そして母親はフィリピン人です。私は **Japanese-Filipino Children** であることを誇りに思います。しかし残念なことに、私が生まれた時に父親が行方不明だったため、私は日本国籍を失ってしまいました。

私は心からお願いがあります、私の日本人としてのアイデンティティを得るため助けてください。

私の一番の夢は、日本の教師になることです。私はフィリピン語や日本語を教えることで他の **Japanese-Filipino Children** を助けたいです。もし私が日本国籍を取得できれば、将来成功することができると思っています。

どうも、ありがとうございます。

(署名済)

Yuki TANAKA

私は二つの国の間に立っているようで、どちらが私の本当の国籍なのか分からないのです。私はフィリピンで生まれて育ったので社会では、私はフィリピン人だという事が分かります。しかし、個人的に、何かが不足している感じがあります。私の血管で日本人の血が流れているので、自分のルーツに戻って行きたいような感じがあります。

子どもの時に、私の父は私と姉を日本に連れて行きました。外国ということだけではなく、私の父の故郷だったので嬉しかったです。私はあの場所が私の故郷になるのだと思いました。でも、時間が経ち、なぜか分かりませんが父は私から段々離れていきました。その頃は、彼は一ヶ月に二回に私達を訪ね、そうして、一ヶ月に一回になり、そうして、時々一週間しか訪ねない事になり、そうして、彼の訪問がなくなり、滅多に私達に電話をしてくなくなりました。彼は私にたくさん愛情をくれたので、私は彼の一番好きな娘だと思いました。彼は愛情深い父でした。

何年か経ち、私は彼から全く連絡がないことになりました。私が高校と大学を卒業した時、彼は私に連絡もせず、尋ねてもくれませんでした。それでも、時々、特に祝日の時に、家族みんながお祝いをするために集まる度、私は寂しくなります。私と父と一緒に祝日を祝えることを願っています。私は父がいなかったので父のような男性を探していました。本当は父の愛は代わりがない事を、私は心の中で分かっています。私は私の父の愛に憧れています。私と姉は父からの愛がもらえるように、日本人として私の権利のために戦っています。

私は日本の国籍を取得し父に会おうと、たくさんの苦勞をしました。この裁判に行くために仕事を辞め、一年間以上待ちました。今、私はあなたの前に立ち、日本人として私達の権利を請求しています。私と同じ思いをして日本国籍を取得したいJFC達がたくさんいます。もし、私達があなたの国の一員になれるのであれば、あなたの国から私たちの国になります。それが日本なのです。

どうもありがとうございます

---

ナリコ・ゴキタ

私はツネタ デラ パズ マサミです。

両親が無知だったために、私は日本人になる権利を失ってしまいました。

私はフィリピンで生まれ育ち、教育を受けてきました。私には常田竜二という兄がいて、兄には日本国籍があります。なぜなら、兄が生まれた時、私の両親は結婚していなかったのですが、父は、兄を認知してくれたからです。

私がここに日本に入国できたのは、兄に呼び寄せてもらい、短期滞在の観光ビザを取得できたからです。日本に来てから、私たちは書類を揃え、千葉の入国管理局にて在留資格の変更申請を申請し、その後、千葉の法務局に行きました。入管では私が日本人の子であるにもかかわらず、日本人の配偶者等の在留資格への変更は許可されず、出国準備期間のビザしかもらえませんでした。その後、法務局へ行った時には、国籍を与えることはできないと言われてしまいました。それは、私の住所は日本にないからだという理由でした。

私と兄は国籍再取得の申請が不受理だったことに傷つきました。その後、品川へ行き在留資格の変更申請を再度しました。すると、3年のビザが与えられました。

日本に住みたい理由は、私が日本人の子だからです。外国の人でも、日本に居住しているのに、なぜ私は日本人の子どもであり、兄は日本国籍があるのに、私にはそれが許されないのでしょうか。

もし、日本国籍が認められたら、一番初めにしたいことは、勉強をして日本語の会話や読み書きができるようになりたいです。

私には国籍がなく、兄には日本国籍があり、兄をうらやましく思います。私は父親の本当の子であり、兄の実の弟です。日本国籍を取得する権利を私に与えて下さいますようお願いいたします。

日本人になりたいという私の願いをどうか叶えて下さい。  
ありがとうございました。

                      
(署名済)

マサミ・ツネタ

翻訳日：2010年12月21日

翻訳者：特定非営利活動法人JFC ネットワーク 伊藤里枝子

所在地：東京都新宿区西新宿4-16-2 西新宿ハイホーム206

僕はジェイムス アンヘロ A. スミダ、16 歳、日本人とフィリピン人を両親に持つ子どもの一人です。ですが、僕の意味ではないのに、日本国籍が無くなってしまったため、今はフィリピン国籍です。私の母は日本国籍法のルールや必要条件について知らなかったのです。

国籍喪失は、僕の全ての幸せを失うこと、人生の約半分を失ったことを意味します。なぜならば、日本国籍なしでは僕の夢は満たされないからです。

僕はいつの日かパイロットになる夢を持っています。僕は現在ビザ無しでは日本に行くことができませんが、もし僕がパイロットになれば、日本に入国するためのビザを取得する必要がなく、何時でも日本に行き父親とコミュニケーションを取ることができます。僕は父親に会うためにいつでも日本に行く事ができます。

僕がまだ幼い時、僕は日本の伝統、習慣、言葉を学ぶたくさんの機会を失いました。もし、僕が日本国籍を失っていなければ、自分自身に後悔することはありませんでした。なぜならば、時々他の人達から差別を受けるからです。この問題は僕をととても傷つけます。クラスメートは僕が日本人なのか、どうしてフィリピンに住んでいるのか尋ねます。しかし、僕はこの問題に対して強くならなければなりません。

日本人とフィリピン人との婚内子としての僕の状況を理解して下さい。国籍を喪失した者として、僕たちは戦うために法廷の前にいます。全ての日本人とフィリピン人との婚内子の代表として、僕たちは、日本政府が日本の国籍法を改正することを要求します。僕たちが勝つことを願っています。